

# 令和7年度鹿児島県がん教育モデル校としての取組

1学年合同 LHR「いのちの授業 ～がん教育をとおして～」

鹿児島県立鶴翔高等学校

## 1. 取組内容

### (1) 事前授業(クラスごとに実施)

保健の授業において、「がんの予防と回復」について学習し、がんの種類や発生原因、予防や治療方法について学んだ。

### (2) 事前アンケート

がんサポートかごしまの事前アンケートに答えるとともに、「がん患者さんに聴きたいこと」として自由記述で質問を書かせた。

また、合同 LHR の予告を行い、配慮を必要とする生徒は、担任等に相談するよう周知した。



### (3) 本時の授業(令和7年12月16日)

(ア) 外部講師:NPO 法人がんサポートかごしま理事長 三好 綾先生

(イ) 学習目標:がんの正しい知識を身につけ、健康やいのちの大切さについて主体的に考える。

(ウ) 導 入:事前授業を振り返り、外部講師を紹介した。

(エ) 展 開:生徒から事前に出された質問に、三好先生の経験をふまえて答えていただき、がんの正しい知識を身につけた。(がんの種類・年齢、がんの症状、がんになる原因(検診)、がんといわれたときの気持ち、治療の種類、がんになってからの話、心の支え)

(オ) 「かみづるさんのいのちの授業」のスライドを見ながら、いのちの大切さや生きることの意味について深く考えた。

(カ) ま と め:数人の生徒を指名し、本時の感想や意見を共有した。

## 2. 成果と課題

### (1) 成果

(ア) 「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」と考える生徒の割合が、授業の前後で12.3%上昇した。

(イ) 「がんになっても生活の質を高めることができる」と考える生徒の割合が、授業の前後で24.0%と大幅に上昇した。

### (2) 課題

(ア) 「がん患者を支える仕事に興味がある」と答えた生徒の割合は、ほとんど変化がなかった。

(イ) 「自分はがんにならないと思う」と答えた生徒の割合は、授業後でも30%を超えていた。

### (3) 生徒の感想

- ・ がん教育といのちの講話を聞いて、命の大切さや生活習慣が悪くなくてもがんになることがあると、改めて知ることができました。「かみづるさんのいのちの授業」を聴いて、「もう少し時間がほしい」というのが心に残りました。「明日目が覚めないかもしれない」という恐怖があったことも知ることができました。